

平成28年度 第3回 学校協議会記録

○日 時 平成29年2月22日(水) 15:30～17:00

○場 所 守口支援学校 図書室

○参加者 学校協議会委員 守口市教育センター センター長 吉川 弘美 様
立命館大学 産業社会学科 教授 青山 芳文 様
社会福祉法人 一粒のからし種 グレース工房 理事長
福田 章男 様
門真市公共職業安定所 専門援助部門 統括職業指導官
野志 秀憲 様
守口支援学校 学校医 森口 久子 様
本校PTA会長 古谷万里子 様

学校協議会事務局 郡司校長 佐野教頭 紙野教頭
室田小学部主事 山本中学部主事 石田高等部主事
各分掌部長 医療的ケア安全委員長 土井指導養護教諭

○内 容

- 1 学校長挨拶
- 2 学校協議会委員自己紹介、会長挨拶、事務局紹介
- 3 今年度の学校経営計画の総括と今後の課題について (校長、各分掌長等)
 - ・校長よりの報告
 - ① ストレスチェックの結果について
 - ② 学校教育自己診断
 - ③ 平成28年度学校経営計画及び学校評価
 - 第2回学校協議会でいただいた意見3点について特に説明
 - 1)職員の研修の成果を共有すべき。⇒教職員ネットワークの掲示板に資料を載せる。朝の職員打ち合せで連絡。
 - 2)JJupの取り組みを保護者へ知らせてはどうか。⇒保護者へプリント(NEWS)を配布。
 - 3)職員の長時間労働について⇒平成29年1月から毎週火曜日は19時に退出するようになっている。また、校務分掌の再編を検討し10→7分掌へ、業務内容の見直しも検討。
 - ・各分掌長等より
教務部) →進路指導部) →研究部) →健康安全部) →医療的ケア) →児童生徒指導部) →通学バス部) →支援部) →自立活動部) →情報部)

4 自己肯定感 PT 初年度実施状況報告 (自己肯定感向上委員会 教頭)

自己肯定感・授業力向上プロジェクトは4つの柱で進めている。

5 平成28年度学校教育自己診断について (学校教育自己診断委員会 教頭)

別添集計報告参照

6 質疑応答・提言 (学校協議会委員)

○放課後等デイサービスについて

- ・放課後等デイのニーズが拡大して、日によって通う事業所が変わったりすることで、不安を感じている子どもはいないか、サービス内容は一定レベルに達しているのか。放課後等デイは、保護者にとって大切なサービスであるが質の担保が必要。

⇒不安を感じている子どもがいるということは今のところ聞いていない。

○卒業生へのアフター支援について

- ・卒業後の離職者への対応、北河内就労・生活支援センターワークプラスとの連携はどのようにしているのか。

⇒アフターは卒業した学年の教員が中心に夏季休業中に職場訪問を行い指導をしているが、必要に応じてワークプラスと連携し、通勤支援等も行っている。

○各種研修

- ・「食物アレルギー」、「AED」「ヒヤリハット」の研修は有効。

⇒ヒヤリハットの研修内容は、小さな失敗を挙げていって、大きな失敗を防ぐことが大切。事故まで至らないことを、共有していく必要がある。

○自己肯定感 PT

- ・第2回学校協議会で出た「JJupの取り組みの保護者への発信」の提言をすぐ行動に移していただき良かった。内容も大変重要なことが書かれている。1年後の結果が楽しみ。

○平成28年度学校教育自己診断

- ・学校HPの課題は、チームを作り「誰が・いつ・何を載せるか」年間計画を立てるなどしてはどうか。
- ・保護者と信頼関係が築けるような学校づくりと教員アンケートで出された課題の改善をお願いしたい。

7 まとめのあいさつ